

原台の風

令和5年度 第12号(通算352号)

—佐西学校だより—

令和6年3月22日発行

[発行責任者]

長崎県立佐世保西高等学校長 濱野 正義



**You cannot make an omelet
without breaking eggs.**

校長 濱野 正義

英語やフランスのことわざに『卵を割らずにオムレツを作ることはできない』というのがあります。これを聞いた人は、そんな当たり前だと思ってしまうでしょう。しかし、幼い頃、初めて卵を割った時はどうだったのでしょうか。覚えている人はいないと思いますが、おそらく「うまくできるかな。。。とドキドキしていたのではないかと想像はできますよね。最初から上手く割れたという人はあまり聞きません。殻の破片が混ざったり、黄身が崩れてしまったりしたのではないかと思います。(家の人にどうであったか聞いてみてください)

でも、失敗を恐れて卵を割らなければ、オムレツを作ることはできません。つまり、このことわざが意味するのは、『冒険なしでは、結果は得られない』ということ。『行動しなければ、願いはかなわない』『自分の殻を破らなければ、自分を変えることはできない』とも言えるのではないのでしょうか。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という日本のことわざにも似ていますね。

西高生は、素晴らしい才能を持っています。しかし、どんなに才能に恵まれていても、それを活かす努力をしなければ、宝の持ち腐れです。なかなか成果が出なくても、そんな時こそ、努力し続けるのです。自分の出せる力を最大限に振り絞って、努力し続けるのです。そうすれば、道は必ず開かれます。

とは言っても、努力し続けるためには、「健康」でいることが第一です。病気やケガをしない方がいいのは当然ですが、スポーツで努力している人たちは、ケガを恐れては何もできません。もし病気やケガをしたら無理をせず、すぐに病院に行くなど、自分の体は自分で管理することが大切です。これが本校の校訓でもある「自主自律」なのです。

もうすぐ「令和6年度」という新年度が始まります。2年生は最高学年に、1年生は新入生を迎え先輩になります。さあ、今こそ、気持ちを切り替える時です。そんな君たちに、次のことを贈ります。

「今自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積みかさねていかないと、遠くの大きな目標は近づいてこない。」
@イチロー

「物事の成功の度合いは、かけた時間に比例する。何事も努力し、ぎりぎりまで人事を尽くしたときに『魔法』がかかる」
@ハリーポッターの翻訳者 松岡裕子さん

「迷いながら 間違いながら 歩いていく その姿が正しいんだ 君が立つ地面はホラ 360度 全て道なんだ」
@BUMP OF CHICKEN『天体観測』より

1学年 西高を元気にする60回生！！ これからも進化する60回生！！ 学年スローガン「和」

時が経つのは早いもので、60回生が入学してから間もなく1年が経とうとしています。この60回生がスタートするにあたって、自分と他者を認め合う集団であってほしい。という願いを込めて、学年スローガンを「和」にしました。級友や部活動の仲間とのいざごはあったかもしれませんが、そういうときにこそ、この「和」を思い出してほしいのです。

さて、60回生の皆さんは、本当によく挨拶を交わしてくれます。廊下ですれ違うとき、授業やホームルームのとき、部活動のとき等です。意識はしていないのかもしれませんが、挨拶をされる側からすると、非常に嬉しい気持ちになります。皆さんの元気な挨拶が人を幸せにしているのです。また、集会等で、話をされる方に対して、拍手で迎えることも定着しましたね。他学年の先生や、外部から来られた方の多くが、講話の後に、ニコニコしながら「話しやすい雰囲気でした。」とか、「拍手されると嬉しいね。」と言ってくれていました。今後も続けていきましょうね。後輩たちにも継承し、西高の伝統になってくれると、もっと嬉しいですね。

最後に、皆さん、一人ひとりに考えてもらいたいことがあります。それは、「今、やるべきことは何か。取るべき行動は何か。」ということです。多くは語りません。これで伝わる人になってほしいと思っています。他人や環境に甘えることなく、「自律」し、「自立」できる人に成長することを願っています。

(第1学年主任 萩原 広太)

2学年 ～ 羽ばたくまであと1年～

今年度ももうすぐ終わります。2年生となり様々な場面で人前に出ることが多く、その中で成長する一年だったと思います。6月の高総体後には先輩として部活動を引っ張る姿が多く見られるようになりました。集団の前で自分の意見を言葉として伝える様子が印象的でした。

また、9月の体育大会では、男女それぞれが集団演技に取り組みリーダーの指揮の下、素晴らしい発表をすることができました。そして、今年の西高祭ではどのクラスも非常にクオリティの高い劇や動画発表など工夫を凝らした物を見ることができました。ゴールド賞、シルバー賞を2年生が獲得できましたが、これは去年に引き続きこの学年で独占連覇する形になりました。運動面に限らず、文化面ともにみんなで協力して良いものを作り上げることができたことも成長の一つだと思います。

秋以降も新人戦やコンクールなどそれぞれに日々の努力が県大会、九州大会で発揮されています。学習においても、最近では徐々に自主的に学習に取り組む生徒が増えてきていることを感じます。週末のコモンホール学習会では、3年生に交じって学習する2年生が増えていることや毎朝職員室前に集まって自学する生徒を見ると、もうすぐ3年生になることを自然と意識しているのかなと嬉しく思います。そして、今年が勝負の年です。学習に部活動にコツコツ力を蓄えながら、春を迎えよう！パワー！！

(第2学年主任 中里 圭輔)

《令和6年度 4月の行事予定》

4/2	(火)	新入生オリエンテーション SAKURA フェス (午前)
8	(月)	大掃除 新任式 前期始業式 第61回入学式 育友会入会式
9	(火)	春季実力テスト (全学年)
10	(水)	春季実力テスト (3年) 新入生研修 (~12日)
11	(木)	内科検診 (午後、他17、18、24日) 尿検査 (一次)、部活動編成
12	(金)	尿検査 (一次予備日) 面談週間 (~17日)
26	(金)	歓迎遠足 (予定)



3学年 58 Revolution ここに完結

佐世保西高第58回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。58回生、緑色の学年ということで「ゴーヤ」。ゴーヤの花言葉である「強壯」をヒントに、3年間「強壯」「共創」「競争」をテーマとして走り抜けてきましたね。元気がとりの58回生は、「競争」や「共創」というより「狂騒」の毎日だったかもしれません。ですが、卒業式の答辞で坂本君が話してくれたように、パワーあふれる団結力のある素敵な集団で、日々の生活の中では一人ひとりがそれぞれの色を出し、素敵な「協奏」曲を奏でてくれたように思います。3年間、本当にありがとうございました。あなた方と出会えたこと、そして一緒にコロナ禍から、アフターコロナへの移行という予測不可能な日々を、団結して明るく楽しく過ごせたことに感謝しています。

きっと、どこに行っても大丈夫。誰からも愛される人になってくれると信じています。苦難の日々があるかと思いますが、持ち前の明るさとパワーを武器に戦い抜いていってください。ずっと心から応援しています。

3年間ご支援いただきました保護者の皆様、地域の方々、58回生に関わってくださった全ての方々、本当にありがとうございました。(第3学年主任 峯 悦子)

第58回卒業生代表 坂本 匠さん(広田中学校出身)の答辞(全文)

春浅く、風もまだ冷たさを残しますが、校門の桜はつぼみを膨らませ、新しい生活への希望を感じさせます。この佳き日に、ご来賓の方々並びに校長先生をはじめ諸先生方、たくさんの保護者の皆様にご臨席を賜り、このように盛大な卒業証書授与式を挙げていただきましたことに、第五十八回生を代表して厚く御礼申し上げます。

三年前、真新しい制服に身を包み、大きな期待と不安を抱きながら佐世保西高校の門をくぐりました。今、振り返ると昨日のように思え、あつという間の三年間だったと実感しています。

私たち五十八回生は、三つの「きょうそう」を学年スローガンに、高校生活を送ってきました。

一年目。強くたくましくという意味の「強壯」をテーマに、毎日をただ楽しむだけだったあの頃。様々な場面で先輩方から多くのことを学び、色々なことに挑戦し失敗もしてきました。

一年間があつという間に過ぎ二年生となりました。二年生でのテーマは協働して作り上げるという意味の「共創」。後輩もでき、中堅学年となったこの一年で人間として大きく成長できたと感じています。特に部活動では、周囲に気を使い集団の先頭に立って引っ張っていく。そのような強い覚悟で励むことができました。学校生活でも西高生としての品格を持ち、後輩たちや先輩方に認めてもらえるような行動を意識するようになりました。年が明けて一月になり、先輩方の進路実現のための熱量に驚くと同時に私たちも強い決心と不安がありながら最終学年を迎えました。

今年度は、競い合うという意味での「競争」がテーマでした。私は特に部活動での最後の戦いに向けた日々が印象深く残っています。部の伝統を引き継ぎ、全力を尽くすことで、後輩たちに最後にかける思いを背中を示してきました。ミーティングを重ねそれぞれの目標を立て、日々の練習、遠征に一心不乱に取り組みました。そんな苦楽を共にしたソフトボール部の同級生は家族のような存在です。高総体の前日に、宿舎で一緒に湯船に浸かりながらそれまでを振り返り語り合ったあの時間のことは、今でも忘れられません。七人という少ないメンバーでしたが、一緒に全国大会で入賞できたことは大切な思い出です。高総体では、私自身は悔しい思いを抱えたままの引退となりましたが、同じ学年の仲間から九州大会やインターハイ、全国総文祭への出場者を輩出することができたことは私たちの誇りです。さらに、部活動を通して、精神面でも大きく成長できました。挨拶や礼儀の大切さを教わり、そしてなにより好きなことに熱中することが出来たこの経験は今後の人生でも活かされることが多いと確信しています。

球技大会、体育大会と、一つ一つの行事を仲間とともに最高の思い出とし、秋になりました。何もかもが終わり、受験期に突入しました。将来について考え自分を振り返ることで、今まで感じなかった失望や無力さを突き付けられました。そのときに救ってくれたのは、周りの人たちの存在です。友人や家族、先生方、地域の方々の声援を受け、葛藤しながき苦しみながらも前に確実に進み、今日を迎えることができました。

いよいよ、別れの時が近づいてきました。

先生方。私たちが今日まで西高生として歩むことが出来たのは先生方のおかげです。私たちが帰宅した後も職員室に残り、授業や進路関係の準備に時間を割いてくださいました。さらに休日の模試やオンラインでの講座など、すべては私たちの目標実現のため、勉学に励みやすい環境を作ってくださいました。世間話から悩み事まで、何もかも信頼して話すことが出来る先生方に出会えたことも西高で得られた大きな財産です。これからも私たちのご指導をよろしくお願いします。

いつもそばで支えてくれた家族。高校生活を楽しく終えることが出来ました。三年前より大きく成長できたのは、家族の支えがあったからです。私の体づくりのために、毎日作ってくれたお母さんの料理は、私にとって元気の源でした。休みの日でも練習に付き合ってくれたお父さん。今の自分があるのは、誰よりも練習してきた自信があるからです。二人とも、文句を言わず、自分のやりたいことをさせてくれてありがとう。これから私は好きなことをさらに極める道に進みます。二人にしっかりと恩返しできるように努力していきます。

在校生の皆さん。まずは五十八回生を慕ってくれてありがとう。私たちはいつもみんなの笑顔と元気に勇気をもらっていました。今年の西高祭は工夫を凝らした発表や展示で笑顔あふれる行事となり、西高の組織力の高さと後輩たちの逞しさに感動しました。そしてこれからの西高を託すことが出来ると確信しました。高校生活はあつという間に終わりを告げます。全てのことに全力を注ぎ自分の思いを十分に表現してください。また、西高生である以上、品格を持ち、これまで先輩方の築き上げた良き伝統を次の世代へ引き継いでください。

そして、五十八回生のみんな。五十八回生には強い団結力がありません。三年間という短い時間。皆さんと高校生活を送れたことに感謝しています。何気なくかわした会話や約束、楽しかったこと、苦しかったこと、悔しかったこと、すべてが私にとって一生の宝物です。明日の朝、いつものように挨拶をかわすことはもうありません。授業中の先生たちの声、笑いが絶えなかった休み時間、部活動の掛け声が響く放課後。「また明日。」と笑顔で教室を出ていた日々が今日で終わります。私たちは離れ離れにはなりますが、これからはこの母校で学んだことを、それぞれの道で十分に発揮し、活力に変えていきましょう。

私はこの高校生活で「感謝」という言葉を大切にしてきました。私たちが日々楽しく過ごしている陰には、支えてくれる誰かがいます。数年続いたコロナ禍の混乱は、様々な制約が解除され、「アフターコロナ」へと舵を切りました。日常が戻りつつあることを嬉しく思い、改めて「当たり前」を支えてくれている方々への感謝の気持ちを強くしました。しかし、世の中には災害や戦争に巻き込まれ、高校生活を満足に送ることのできない人もいます。今置かれている状況や立場に感謝し、これからは少しでも多くの人を支えられる人物となるよう、全力を尽くして生きていくことを誓います。

最後に、これまで支えて下さいました皆様に重ねてお礼申し上げますとともに、創立六十周年を迎える誇り高い我が母校、佐世保西高校のさらなるご発展を祈念いたしまして、答辞と致します。

部活動の結果報告

<陸上部> ○令和5年度 全国高等学校体育連盟陸上競技専門部表彰 100m 特級 3年 中川穂泉

<女子バドミントン部>

○令和5年度学年別シングルスバドミントン選手権大会

2年女子 準優勝 2年 本田萌寧、 1年女子 第3位 1年 山口真実

<吹奏楽部>

○第33回日本クラシック音楽コンクール地区本選会 優秀賞 3年 江口奈南佳

○第33回日本クラシック音楽コンクール全国大会 入選賞 3年 江口奈南佳

<美術部> ○交通安全啓発図画コンクール 優秀賞 2年 石田 華稟

<コーラス部>

○第46回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール本選

声楽部門 合格証 2年 川崎和奏(全国大会出場)

<その他>

○交通安全啓発図画コンクール 入選 2年 猶原寧々、筒井巖仁、三又向葵

○令和5年度長崎県明るい選挙啓発ポスターコンクール

高等学校の部 長崎県明るい選挙推進協議会会長賞 3年 山口瑛太郎

<放送部>

○第19回NCCふるさとCM大賞

演技賞 代表 2年 武田心愛(1年 下柳月愛、1年 中村真衣)

